

今回、新城市民病院総合診療科および診療所や患者さんのご自宅などで2週間研修させて頂き本当にありがとうございました。普段研修している渥美病院もまた、渥美半島という、ある程度大きなエリアをカバーしており、それと似ているだろうと思っていました。ただ新城市は山に囲まれた地形や主要な幹線道路を通して都市部との繋がりもあることから、奥三河というより広い地域にまず驚きました。患者さんの病歴や既往のみならず家族の居住地、かかりつけの病院や診療所や施設利用の頻度などの社会的背景についてより考える幅が広くその把握にもより手間取りました。

主訴とその経過から鑑別疾患を挙げて問診や身体診察を行い、問題点を絞り込んでから必要な検査を挙げ治療方法を考える…こうした基本の大切さと各過程で何かしら抜けがあることを再確認しました。症状とその経過についてより具体的に絞り込むための質問方法や身体診察の方法などを詳しく教わりました。また今までそうした疑問点について調べる時に漠然と本を読んでいたことに気づき、自分が知りたい内容についても絞り込むことも大切だと学びました。

救急と初診外来で初期対応を数多く経験し、その中で入院した患者さんも何人か担当させて頂き短い期間の中でも状態は刻々と変化していることを確認できました。特に印象に残っているのは尿路感染症疑いで発熱と褥瘡で入院した患者さんです。発熱は抗生剤投与により1週間ほどで治癒しましたが褥瘡は入院前から既にかかなり進行している状態でした。褥瘡についてあまり調べる機会がなかったため評価方法や治療方法について詳しく調べるとともに日々の回診で経過を直接追うことができました。担当症例以外にも、コルセットや酸素マスクによる不適切かつ長時間の圧迫などの医療機器が原因で起こり難治化しやすい褥瘡もあると学び、体位交換以外のリスク因子や予防の重要性についても皮膚科の先生から聞くことができました。

病院全体の雰囲気も明るくスタッフの皆様もとても親切で優しく分からない点を気軽に聞きやすい所もとても良かったです。特に朝夕のカンファ、その日診た症例の振り返りでは自分の診療が正しかったのかをその日のうちに、1人では気づかず通り過ぎた可能性のある内容についても確認でき次の診療をより良い物にしやすい環境だったと思いました。実際に以前上手く行かなかった点について自分なりに改善策を考え、それが上手く行ったことを上級医の先生から評価された時にはとても励みになりました。それでも何かしら課題が残る場面が多いですがその都度ステップアップしていくよう学び続けることが大切だと感じました。

他にもこれまであまり学ぶ機会のなかった診療所、介護保険、訪問リハビリなどのより生活に密着した要素についても学ぶことができました。

2週間の研修期間で多くの内容を学ばせて頂き本当にありがとうございました。